

力強く進化し続ける大成学園
創立100年を機に、さらなるパワフルな100年に向けて、再スタートを切ります！



思い立ったら自分で
創れるパワフルな
女性に！！
大成女子高校家政科

自他ともに大切にできる自立した
女性に！！
大成女子高校：小笠原流礼法指導



SELHiで培った英語力でパワフルな女性に！！
大成女子高校：英語指導



これからも次世代を育てるパワフルな女性に！！
茨城女子短期大学保育科

情報を活用するパワフルな女性に！！
茨城女子短期大学国文科



心豊かでパワフルな女性に！！

**茨城女子短期大学
介護福祉専攻科**



明るく 元気に そして仲良く！！
大成学園幼稚園

学校法人大成学園 法人本部

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町3丁目2番61号
Phone:029-221-7291 Fax:029-221-7294
mailto:info@taisei.ac.jp

茨城女子短期大学

〒311-0114 茨城県那珂市東木倉960番地の2
Phone:029-298-0596 Fax:029-295-4868
mailto:iwjc-info@taisei.ac.jp

大成女子高等学校

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町3丁目2番61号
Phone:029-221-4888 Fax:029-228-2850
mailto:tghs-info@taisei.ac.jp

大成学園幼稚園

〒311-0114 茨城県那珂市東木倉960番地の2
Phone:029-295-1288 Fax:029-295-4868
mailto:tgps-info@taisei.ac.jp

大成 新世紀へ



大成新世紀へ

進化の歴史とさらなる100年へのスタート



創立者 額賀三郎・キヨ夫妻と創立当時の大成裁縫女学校の校舎

石岡市出身の額賀三郎と、小川村（現在の小美玉市）で裁縫教授所を開設していた小堀キヨが、結婚して水戸市鳥見町（現在の泉町3丁目）に移り、1907（明治40）年、自宅で裁縫教授所を開設した。裁縫塾での教育に携わる中、額賀夫妻は、広く女子生徒を集めて裁縫教育を中心とした実学と同時に、女子の人格全般の陶冶を目指す、という多年抱いていた教育者としての抱負を実現するために、私財を投じて本学園を創立するにいたる。翌1908（明治41）年4月には、水戸市藤坂町（現五軒町）にトタン葺2階建53坪の校舎を新築し、正式な学校として発足するための準備を始めた。（上の写真）この初代校舎は、現在の体育館の南側の土地に建てられていた。こうして翌1909（明治42）年4月3日、茨城県から正式な認可が下り大成裁縫女学校が開校することとなった。これは、現存する茨城県最古の私立学校である。当時、水戸周辺には私塾はいくつかあったが、女学校は茨城県高等女学校（現水戸二高）のみであった。

校是

「集大成を旨として温良貞淑の女徳を学び、時代に適応できる堅実な女性の育成を目的とする」

校訓

誠実、協和、勤勉

校章

1912年6月に制定された。五弁のなでしこの花を象ったもので、花の中央に「成」の一次を表したものだ。なでしこは「やまとなでしこ」（大和撫子）ともいい、古来日本女性の美称として用いられてきた。また、なでしこは「撫で慈しむ」という意味で、日本の古典ではよく愛児に例えられている。額賀三郎先生は、なでしこを校章に用いることにより、教師が生徒に対し親が我が子を愛育するように教える家庭の校風の樹立を目指し、また、本校で学んだ生徒が「やまとなでしこ」とたたえられるような美しく気品ある女性となることを願った。



100th
Anniversary
in 2009



創立者額賀三郎・キヨ夫妻の像

卒業生と職員の寄付により、1965（昭和40）年に建立されました。職員寄贈による牡丹桜が毎年4月に見事な花を咲かせます。創立者ご夫妻は、大成女子高校体育館前で、私たちの活動を今も静かに見守っています。

【生徒達の活動】

■大成裁縫女学校時代



裁縫塾開設

私塾時代の卒業生に
県下初の女性ジャー
ナリスト（いばらき
新聞記者）で、歌人
小松原暁子としても
活躍した **猿田千代**が
いる（1907）

生花の授業



当時のおしゃれな生徒達

良家の子女が集う本学園は、
おしゃれな生徒が多かった
流行のファッションアイテム
は、もちろんお手製！
技術指導には当時から定評が
あった



礼法授業の様子

創立以来、小笠原流を基本
に礼法指導が続いていた



日本の保育士第一号豊田

英雄先生も本校で教鞭を
とっていた(1925)

大正8年卒業生

卒業後に東京の学校に進
学する者、三越など、東
京に就職する者もいた
(1917)



礼法の授業風景

創立者額賀キヨ先生は、小笠
原流礼法を授業にとりいれて
いた(1910頃)



大成裁縫女学校開設

私立学校として正式に認可を受ける
生徒数はわずか8名の出発だった
(1909)



寄宿生たち

校長宅のなかに寄宿生の部屋があった

【校舎】



大成裁縫女学校開設（1909）



水戸市大成女学校(1925)



大成高等女学校(1937)



戦災にも焼け残った石倉



再建された校舎(1950頃)



茨城女子短期大学 開学当初



大成学園幼稚園 開園当初

【学園沿革】

■私塾時代

1907（明治40）年12月

初代学校長額賀三郎・キヨ夫妻、茨城県水戸市鳥見町に裁縫塾開設

1908（明治41）年4月

水戸市藤坂町に移転

■大成裁縫女学校時代

1909（明治42）年4月3日

大成裁縫女学校（本科・専科・家政科）と改称し、
茨城県下初の私立女学校として開学

■水戸市大成女学校時代

1919（大正8）年9月

大成裁縫女学校を水戸市大成女学校と改称

■大成高等女学校・水戸市大成女学校時代

1929（昭和4）年4月

大成高等女学校を併設

1944（昭和19）年11月13日

茨城県達207号をもって看護婦養成所に指定

1945（昭和20）年7月4日

財団法人大成高等女学校の経営となる

1945（昭和20）年8月1日

空襲により全校舎を焼失

1945（昭和20）年11月

旧37部隊兵舎を仮校舎として授業を再開

■大成女子高等学校時代

1948（昭和23）年3月

学制改革により大成高等女学校（普通科・家政科）を
大成女子高等学校と改称し、大成女子中学校を併設

1950（昭和25）年2月28日

大成女学校廃止

1951（昭和26）年3月3日

学校法人大成学園の経営となる

1953（昭和28）年2月13日

初代学校長額賀三郎逝去

1954（昭和29）年7月2日

大成女子中学校廃止

1965（昭和40）年11月19日

額賀キヨ、文部大臣より教育功労者として表彰

1966（昭和41）年11月3日

名誉学校長額賀キヨ、勲五等に叙せられ宝冠章を授与

■茨城女子短期大学・大成女子高等学校時代

1967（昭和42）年

茨城女子短期大学（文科・保育科）を開学

1967（昭和42）年8月1日

名誉学校長額賀キヨ逝去

1968（昭和43）年6月26日

学校長額賀修、教育功労者として藍綬褒章を授与

1969（昭和44）年4月1日

大成女子高等学校に衛生看護科を設置

■茨城女子短期大学・大成女子高等学校・大成学園幼稚園時代

1971（昭和46）年

大成学園幼稚園を開園

1977（昭和52）年3月

副高校長額賀阿や子、勲五等に叙せられ瑞宝章を授与

1977（昭和52）年11月3日

理事長額賀修、勲四等に叙せられ旭日小綬章を授与

1990（平成2）年4月

茨城女子短期大学に専攻科を設置

1992（平成4）年4月

大成学園幼稚園を2年保育から2・3年保育とする

2002（平成14）年4月1日

茨城女子短期大学短大において文学科廃止され国文科に統合
大成女子高等学校に5年一貫教育の看護科を設置

2002（平成14）年4月29日

理事長額賀良一、勲四等に叙せられ旭日小綬章を授与

2006（平成18）年4月3日

大成女子高等学校が文部科学省より、平成18～20年度スーパー・
イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）に指定

2009（平成21）年4月1日

同様に平成21～23年度「英語教育改善のための調査研究事業」
指定校

2009（平成21）年7月11日

学園創立100周年記念式典



家庭クラブひなまつり

生徒達の努力で母校に寄贈さ
れた貴重なひな人形(1974)



衛生看護科設置(1969)



東京オリンピック金メダリスト

佐々木節子さんは母思いの頑張り屋
だった 隣は額賀修校長(1964)



同窓会なでしこ会発足(1969)



大成学園幼稚園開園（1970）



茨城女子短期大学開学(1967)

■茨城女子短期大学

■大成学園幼稚園